

ピースおおさか 展示リニューアルの概要

法人の目的

大阪空襲の犠牲者を追悼し、平和を祈念するとともに、空襲を中心に大阪の人々の戦争体験に関する情報及び資料の収集、保存、展示等を通じて、戦争の悲惨さ及び平和の尊さを次の世代に伝え、平和を願う豊かな心を育み、もって世界の平和に貢献する

【展示リニューアルの方向性】～大阪空襲を語り継ぐ平和ミュージアム～

次代を担う子どもたちが、大阪と戦争の関係や身近な地域に起こった空襲の事実を通して、戦争の悲惨さ、戦争の背景を理解するとともに、平和を自分自身の課題として考えることができる展示を目指す。

「大阪中心」に「子ども目線」で「平和を自分の課題として考えることができる展示」にリニューアル

【経緯】～開館(1991(平成3)年)以来初めての、常設展示の全面的なリニューアル～

2012(平成24)年度 展示リニューアル構想策定
2013(平成25)年度 基本設計、実施設計
2014(平成26)年度 施工(工期 9/1～2015.3/31)
2015(平成27)年4月30日 リニューアルオープン

【検討体制】

2012(平成24)年12月 財団内に展示リニューアル監修委員会を設置
委員長：橋爪紳也氏(大阪府立大学教授、大阪府市特別顧問)
委員：小田康徳氏(大阪電気通信大学名誉教授)、影山好一郎氏(元帝京大学教授)、
もず唱平氏(作詞家、元(財)大阪国際平和センター理事)

【受託者】

設計：株式会社乃村工藝社(公募型プロポーザルにより選定)
施工：株式会社乃村工藝社(条件付一般競争入札により選定)

【経費】

設計費：約1,700万円、施工費：約2億6,700万円(いずれも全額大阪府・大阪市の補助金)(府市同額)

【展示資料】

解説 134点、写真・グラフィック 257点、図版 60点、模型等 38点(うち新規展示14点)、
実物資料 103点(うち新規展示69点)、映像等 13点 合計605点

【展示の特色】

- 当館所蔵資料を活用し、実物・証言を中心に構成した。
 - (例)・出征兵士等の手紙、女学生の日記、学童疎開児童と家族の手紙 被弾した水筒、国民服
 - ・空襲体験者の証言を体験画などとともに映像紹介(「証言の部屋」)、スロープに空襲体験者の絵画・証言を展示、戦後の状況や復興の歩みを体験者の証言を交えて映像紹介 など
- 体験、体感できる展示内容を加えた。
 - (例)・実物大の防空壕(10人程度が入れる規模、音響や照明などで空襲時を再現)
 - ・空襲の様子を再現したプロジェクションマッピング映像(空襲後の戒橋界隈のジオラマに投影)
 - ・戦後の買い出しリュックサック など
- 戦時下の子どもたちの暮らしのコーナーを充実させるとともに、子どもたちにわかりやすい解説になるよう工夫を凝らした。
 - (例)・国民学校の机を模した展示、情報検索システム(国民学校、学童疎開、遊び、暮らし)
 - ・解説文をわかりやすい表現にするとともに、難しい言葉には用語解説を加えた。
 - ・当時の手紙等は、拡大して展示するとともに、活字体展示と用語解説等を付した。
- 外国人向けに多言語による音声ガイダンスを新たに導入した。(日本語、英語、中国語、ハングル)
解説ポイント：40箇所

【展示構成】～戦前・戦中・戦後を通して6つのゾーン構成～*リーフレット「展示のしおり」参照

■ 2階展示室 (327 m²)

Aゾーン「昭和20年、大阪は焼き尽くされた」

空襲で焼き尽くされた大阪を、現在の様子とともに伝える

＜主な展示＞ 空襲後の千日前、堺、豊中の様子(写真)、被弾した水筒

Bゾーン「世界中が戦争をしていた時代」

大阪空襲に至った背景として、なぜアメリカと戦争をしたのか、日清・日露戦争から太平洋戦争までをたどる

＜主な展示＞日清・日露戦争から太平洋戦争まで(映像/年表)、新兵器の登場と被害の増大

Cゾーン「戦時下の大阪の暮らし」

戦時下で厳しさを増す暮らしとともに、空襲に備えた当時の様子を伝える

＜主な展示＞国民学校の机を模した情報検索システム、当時の服装や手紙、ポスター

↓

スロープ・・・空襲体験者の証言、体験画

↓

■ 1階展示室 (198 m²)

Dゾーン「多くの犠牲を出し、焼け野原になった大阪」

50数回に及ぶ大阪空襲の実態を伝える

＜主な展示＞空襲の様子を再現したプロジェクション・マッピング映像(戎橋界隈のジオラマに投影)、集束焼夷弾・1トン爆弾の複製模型、体験型防空壕、模擬原爆(写真等)、「証言の部屋」

↓

大阪空襲死没者を追悼し平和を祈念する場「刻の庭」

↓

階段、エレベーター

↓

■ 3階展示室 (194 m²)

Eゾーン「たくましく生きる大阪」

GHQによる占領下から高度経済成長を経て発展する大阪の姿を伝える

＜主な展示＞証言でたどる戦後復興(映像)、買出しリュック(複製模型)、「メイドインキョウトジャパン」と刻印された食器 など

Fゾーン「私たちの未来をつくっていくために」

今も平和が脅かされている世界。平和のために私たちができることは何かを考える

＜主な展示＞世界の戦争・紛争(地図、写真)、国際貢献(写真)、世界で活躍する大阪の若者、府内の戦跡紹介、ワークショップスペース など

(参 考)

【施設概要】鉄骨鉄筋3階建 敷地面積 2,513 m²

延床面積 3,483 m²、うち常設展示室 719 m²、特別展示室 167 m²

映像コーナー161 m²、図書室 65 m²、講堂 300 m² など

【入館者数】 68,586人(2017(平成29)年度実績) 開館以来延べ 209万6,991人